

会 員 通 信



2018.10 Vol.29

- アンケート結果 1
- 第22回 研修会報告(北海道) 2・3
- サポーター研修会報告 3
- サポーターリレーコラム 4
- 漢字研究の扉(コラム) 5
- 書籍紹介・投稿紹介 6
- 漢字まなび活動のご紹介 7
- 投稿募集 8

ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは「**会員流! 漢字の覚え方について**」です。

間違えやすい漢字や似ている漢字について、皆様の工夫をご投稿いただきました。(回答者:24名)

熟語の意味と間違えやすい部分を結びつける

羸

羸瘦(るいそう)

意味：つかれてやせること。やせ衰えること。
⇒ 覚え方：疲れて瘦せた羊。

羸

輸羸(しゆえい・ゆえい)

意味：勝ち負け。「一を争う」
⇒ 覚え方：勝負は貝で争う。

回答者のうち3名の方が「羸」と「羸」を間違えやすい漢字に挙げていました。

漢字の成り立ちから連想する

隻

せき

「鳥を1羽手※に持つ形」
↓
獲、穫、護、獲。 ((草冠+隻)も同義)
※「又」は右手の象形文字

瞿

く

「鳥が目を見開く形」
↓
みる、おそれる。
↓
懼、懼。

矍

かく

「目を見開いた鳥を手に持つ形」
↓
みまわす、あわてる、はやる、いさむ。
↓
矍、矍。

漢字の成り立ちを物語化し、脳内でアニメーションを再生することで定着させるそうです。成り立ちから理解することで、傍の書き間違いが減りそうですね。

イメージで捉える

纒

(讒・巉など)



【傍の書き方】

大まかに「うさぎが二匹反対方向へ逃げていく」姿と考え、それから上下のうさぎの形の細かい違いを覚える。

漢字を分解しストーリーを作る

檸檬

【檸檬の傍の書き方】

「うかんむりに」に「心」を添え、レモンなので「皿」を用意する。

林檎

【林檎の書き方】

「林」にある「木」についているものを猛「禽」類が食べる。

語呂合わせで覚える

躲

「身の危険をかわす・さける」
(「身」の「乃」「木」けんを「かわす・さける」(訓読み))

邇

「慎重に不動の構えで仕留めると二児に誓い」
(「しん」に「不」「どう」の「がまえ」で「四トメ」(封書のトメに似た形を四つ書く)ると「二・ジ」(音読み)に「ちかい」(訓読み))

書き方だけでなく、読み方も語呂の中に組み込んでいるところが良いですね。

〈編集部よりコメント〉

イメージを活用した覚え方や、意味と結びつけた覚え方など、様々な覚え方を送っていただきました。覚えにくい漢字や、間違えやすい漢字があれば、是非いずれかの方法を試してみたいかがでしょうか。

第22回 会員向け研修会を開催いたしました。

2018年7月29日(日)にTKP札幌駅カンファレンスセンターにて、第22回会員向け研修会を開催し、26名の方にご参加いただきました。ご講演内容を簡単にご紹介いたします。

『漢字を嫌悪した中国人』

北海道大学 教授 **武田 雅哉** 先生



1：漢字神話から見られる解釈

漢字の発明について、もっともよく知られた神話は、次のようなものである。

昔、蒼頡^{そうげつ}が書(文字)を作った。天は粟を降らせ、鬼は夜に泣いた。伯益^{はくえき}は井戸を掘った。すると龍は黒雲に乗って去り、神は崑崙^{こんろん}に移り棲んだ。つまるところ、智能が優るにつれて、徳性は薄れていくのである。——『淮南子』「本経訓」(前2世紀)

「文字を持ったら、人間の徳性は薄れ(人間が墮落し)龍や神が去ってしまった」という内容が書かれているため、ここでの「天が粟を降らせた」は、かならずしも神の祝福ではなかったようだ。3世紀の高誘^{こうゆう}は『淮南子』に注をつけて、こう説明している。

蒼頡は、はじめて鳥の足跡の文様を見て、書契を造った。すると詐欺が発生した。詐欺が発生すると、(人は)本^{もと}を棄てて末におもむくようになり、耕作の仕事を放棄して、錐刀(文字を書くペンのような道具)を鋭利に研ぐのに専念するようになった。天は、人間が飢えるであろうことを知った。だから粟を降らせたのだ。

中国人には、文字を持ったことにより詐欺(文書の改ざん)の歴史が始まったという、クールな哲学があったようだ。21世紀のいまは、まさにこの神話の延長線上にあるとは言えないだろうか。

2：漢字音の表記

漢字の読み方(発音)を伝える場合、我々日本人は、ひらがなやカタカナを使用すればことたりるが、漢字しか持たない中国人はどのように表記するのだろうか。中国語は音の高低により意味が変わってしまう声調言語であり、その声調の種類は、現行の標準語においては4種類ある。現在、中国語の辞書では、一般にローマ字を使った表記方法(拼音^{ピンイン})を使っている。過去においては、漢字を使って漢字の発音を表記する方法が用いられていた。例えば、「声訓^{せいくん}」(例：政正(政は正なり))、「直音^{ちよくおん}」(例：畢音必(畢の音は必))、「読若・読同^{どくじゃく どくどう}」(例：虔、読若矜[虔は矜の若く読む])といった方法である。また、漢魏以降からは反切法(2つの漢字を用い、一方の音の最初の部分と、他方の後半部分と声調を組み合わせて、その漢字の音を表す方法。例：「亢、苦浪反」(亢[k à ng]=苦[k(u)]+浪[(l) à ng]))も使われるようになった。

ただ、広大な中国では地域による方言の違いが大きく、同じ言葉でも発音が全く違っている。「雅言」(春秋)や「通語」(漢)、「正音」(北魏)、「官話」(明清)など、中国に共通語を表す語彙が脈々と存在していたのは、共通語の必要性を強く感じてきた証拠だと言えるだろう。

3：清朝末期の普遍文字構想から、その後の漢字改造計画まで

清朝末期、外国文学の翻訳が盛んになったが、中国語の方言の違いにより、欧米人の著者名にあてる漢字が統一されないなど、出版界が混乱するという事態が生じていた。そのような状況と同時に、不便な漢字に替わる新しい共通の文字を作ろうとする数多の「蒼頡たち」が出現する。こうして、速記文字や日本のかな文字、古代文字などをモデルにした、100以上の新文字のアイデアが出された。ある地方では、実際に塾などで新文字による教育が行われたようだが、結果的に生き残ったものは一つもなく、清朝末期の普遍文字構想は幻想に終わってしまった。このような動きは、清朝が滅びてから、どうなったのだろうか。

文字は必ず改革しなければならない。また、世界共通の文字の表音化(ローマ字的なもの)の方向に向かわねばならない。民族形式により、字母と方式は現行の漢字に依拠して制定しなければならない。漢字の表音化には、多くの準備が必要だが、表音化に先立って、漢字を簡略化し、現今の用に立たせるとともに、様々な準備を進めなければならない。—— 毛沢東(1951)

このような意見のもとに、文字を表音化する目的で拼音が、漢字を簡略化する目的で簡体字が作られた。ただ複数の繁体字(簡略化されていない漢字。簡体字に対応する言葉)を一つの簡体字にまとめてしまったケースもあり、現在、間違っただけの繁体字に誤変換された中国古典のテキストがネット上に氾濫するという問題も生じている。

中国人はこのように様々な形で漢字と格闘してきたが、結局漢字を捨てることはできなかった。この苦勞の背後には、文字に対してのどてつもない信頼と、文字を信じてはいけないう気持ち、大好きと大嫌いなどの相反した思いがある。是非、皆さんには漢字に対する中国人の様々な思いを頭の中に置いて欲しいと思う。

漢字教育サポーター研修会報告

- 日 時：7月29日(日) 10:00～11:30
- 参加者：7名
- 研修会内容

「消しゴムはんこ体験会／教材体験会」

「漢字に親しむ講座」の参考にしていただくために、消しゴムはんこの作成方法を体験した後、市販されている漢字の教材(カードやゲーム)について協会から紹介を行いました。その後、参加者が二人ずつのチームになり、漢字イーじゃん(漢字のマーじゃん)を実際に体験しました。消しゴムはんこについては、「思ったよりも手軽にできた」というご意見をいただき、漢字イーじゃんについては、「慣れるまでに時間がかかったが、面白く体験できた」とのご意見をいただきました。

● 漢字教育サポーター研修会について

漢字教育サポーターの研修会は年3回、全国各地で生涯学習ネットワーク研修会と同日同所で行っています。サポーター研修会では、近隣のサポーターと一緒にグループワークをしたり、先輩サポーターと情報交換をしたりすることができます。

※サポーターは、学校や生涯学習施設など地域からの依頼に応じて、漢字を学ぶ楽しさを伝える活動を行っています。



【お知らせ】

次年度、第8期漢字教育サポーター育成講座を開講することが決定いたしました。受講期間は2019年4月上旬～2020年3月末日となる見込みです。次号2月上旬発行予定の会員通信Vol.30に案内を同封いたしますので、受講ご希望の方は今しばらくお待ちください。

漢字教育サポーターリレーコラム

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さんによる漢字や漢字活動に関するコラムを掲載します。
第5回は東京都にお住まいの関根美奈子さんにご執筆いただきました。

漢字から生まれた宝物

第2期漢字教育サポーター 関根 美奈子

私が漢字検定を受けた理由、それは当時小・中学生だった我が子に勉強する親の背中を見せて、自ら勉強する子にしたかったからだ。その目論見は見事に外れたが自分の漢字熱には火がついた。

3か月で10級から2級の教本・テキスト・問題集を終わらせ2級合格。次の検定で準1級合格。ここまで来たからには1級を受けようと市販の問題集を10冊ほど終わらせた。しかしまだ足りないだろうと通信教育を申し込み、届いた教材を見て愕然。開いたテキストの1頁目から8割位は解けない問題だった。問題集を既に10冊終わらせたのに…。私の蟻の様な極小のプライドは脆くも崩れ去ったがもう一度かき集め1年半かけて通信を終了し無事合格した。そのお蔭で漢検さんの養成講座に参加でき「漢字教育サポーター」に認定して頂いた。しかし本当の宝は資格や称号ではない。

2014年4月にサポーター2期生の有志で会を立ち上げた。今年で5年目になるが、8月を除いて毎月例会を開いている。例会後には美味しいお酒を頂きながら漢字話に花を咲かせてもいる。2年目からは、年



に1~2回高名な先生方をお招きしての講演会も開くようになった。その後の懇親会ではお話も出来るという美味しいおまけつきである。

先生方とのつながり、例会の仲間たち、期をまたいでの交流。これこそが私の宝物であり、漢字を勉強して良かったと思う点である。知識は頭の宝、人脈は心の宝である。

残念ながらサポーターとしての活動は、お手伝いとして小学生を一回指導したのと寿大学*で一度講義しただけの初心者である。

それでも細々とこの漢字の世界に身を置いて、そこで生まれた宝物を大事にしていこうと思う。

※寿大学：生涯学習事業として地域の高齢者向けに開かれる講座のこと。



関根さんからの紹介で

次回は栃木県の鶴田久美子さんのコラムを掲載します。
お楽しみに!

漢字クイズ 難読地名 京都府

今回は、次回研修会が開催される京都府の地名を紹介します。

以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ① 周枳 (京丹後市)
- ② 大簾 (船井郡京丹波町)
- ③ 東鋸屋町 (京都市下京区)



解答は7ページへ

※画像はイメージです。

漢字研究の扉

このコラムでは、漢字文化研究所の研究員が「日本語や漢字の面白さ、奥深さ」を会員の皆様にお伝えします。漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。

「大」の字の訓読み

私は日本の古い辞書の歴史を研究しています。古辞書と関係のない仕事をする事も多いのですが、意外なところで古辞書とつながることがあります。この原稿を書いているのは、「大文字」で有名な京都五山の送り火の時期ですので、「大」の字を取り上げたいと思います。

事の発端は、大学の講義での一コマでした。「お国ことばで聞く桃太郎」というCD*1があり、日本各地の方言を用いて「桃太郎」を朗読したものが収録されています。これを学生と聴いていたのですが、鹿児島方言の桃太郎のなかに、次のような箇所がありました。川へ洗濯に行ったおばあさんが大きな桃を見つける場面です。

かわかんのほーから、ふとかあーももが、どんぶらっこ、どんぶらっこち、ながれきもした。

朗読者が情感たっぷり「ふとかあーもも」と語る部分が好きで、二回も聴き直したのですが、学生からこんな質問が出てきました。「どうして、桃が『ふとい』なのですか?」たしかに、不思議です。「大きな」が「ふとかあ」になっています。すると、出席者のなかに九州出身の学生がいて(大学ってスゴイ!)、こんなことを教えてくれました。九州では「大きい」をこと「ふとい」と言う。例えば、親戚の子どもが大きくなったことを「御体(ごたい)、ふとうなって」などと言う、と。ここでは、体が「ふとい」ことを悪い意味で使っていません。

そこで方言地図を調べてみると、九州全土で、「大きい」ことを「フトイ(フトカ)」と言っていたようです(右図*2参照)。

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所 小林 雄一

このこととつながるのが、『類聚名義抄』(観智院本、鎌倉時代写。以下、名義抄)の「大」の字です。

大 達頼反 ヲホキナリ オホイサ フトシ ヒタスラ 又音駄 カタチ 和タイ(仏下末、声点を省いた。)

『名義抄』は漢文を読むための辞書であり、さまざまな文脈に用いられる漢字に対応する訓読みを掲載しています。注目されるのは、形容動詞「ヲホキナリ」、名詞「オホイサ」と「おほ」が付く語が並ぶなか、形容詞は「フトシ」とあることです。「おおきい」という形容詞は新しいことばで、室町時代に見られるようになる語です。

大きいことを「ふとい」と言う方言、「大」の字を「フトシ」と読む辞書。地理的にも時間的にも離れた両者が結びつくというのは、不思議なものです。また、「ふとい」ことに悪いニュアンスが付くようになったのはいつなのでしょう、そういったことも気になってきます。



*1 佐藤亮一(2002)『お国ことばを知る 方言の地図帳』(小学館)の付録

*2 佐藤亮一(2002)『お国ことばを知る 方言の地図帳』(小学館)より抜粋

書籍紹介



『「しんにょう」がついている国字』

幻冬舎メディアコンサルティング 2018年 西井 辰夫 著 【紹介者】埼玉県 水野さん

漢字にはクイズなど様々な楽しみ方がある。しかし時には本書のような漢字の奥深さに触れるのも違った楽しみである。

本書には「不思議な字『辵』 不死身な字『込』」という副題がついている。「辵」は何と読むか。「すべる」である。「すべる」は通常「滑」を書く。しかし受験に失敗することを意味する「すべる」には「滑」は書かない。「辵」である。なぜか。詳しく知りたい方は本書をご覧ください。



PR 2018年11月いよいよ発売!

『大漢和辞典デジタル版』のご紹介 (大修館書店)

構想から70年あまりの歳月をかけ2000年に完結した、漢和辞典の最高峰『大漢和辞典』。親字5万、熟語53万を収録し、膨大な文字量と滅多に目にすることのない漢字の多さから、永らくデジタル化は不可能と言われ続けてきました。その“大漢和”のデジタル版が、今年11月ついに登場。書籍では13巻に分かれ、ページ数にして1万ページを優に超える情報が、PC1台に収まります。

◆商品仕様・形態

OSはWindows7/8.1/10に対応。USBメモリ(化粧函入)での販売となります。USBメモリからPC本体へデータをインストールしてお使いいただけます。

◆デジタル版の主な特長

検索機能には、読みや部首が分からない漢字も簡単に引ける「部品検索」を搭載。また、本文情報は画像で用意。書籍の約4倍の大きさまで拡大して表示ができます。

※書籍版は全15巻セットを本体価格24万円+税で販売中。



「1級に初めて合格しました!」のコーナーではありませんが、1級合格に関して、以下の投稿をいただいたので、掲載いたします。

私は中学2年時に初受検で合格し、当時史上最年少だったことでメディアから取材を受け、報道された経験を持ちます。18年前のことです。毎日5分でも問題集を読み、現在絶版の『1級合格捷径』を少しずつ写した大学ノートは6冊になったことを覚えています。幼いころから文字や形が大好きで、その気持ちが続いたことが合格に結びつき、幸福な少年時代となりました。このように漢字を極めた後、文学系の学部には進まず、デザインを学び、理系の大学院を出て、Web開発が生業となりました。休日はWikipediaの編集、日曜数学、地域のITボランティア団体でWebを教える活動をしています。漢字の独学で培われた記号的辞書的な図太い思考のおかげで、多分野の学問に特段躓くことなく参入でき、そこで得られた話題によって幅広い年代の方々と交流を持っています。現在は長年の余業である造語や造字に釣られ、幼時に秘めた夢である日本語フォントの制作に向けて動き始めています。1級に合格した際に更なる高樓を自分で臨もうと考えたことが、自分で楽しめることを自分で作り出す習慣へと繋がり、人生が存外にも豊かなものになりました。漢字の学習は早いに越したことはないと思う次第です。

(神奈川県 高橋さん)

<高橋さんへのコメント>

漢字だけでなく、様々な分野に興味・関心を持って楽しんでおられる様子が伝わってきます! 生涯学習ネットワークでは、様々な分野に造詣の深い、幅広い年代の方に登録いただいておりますので、研修会や会員通信、メールマガジンが、会員同士の交流のきっかけになることを願っています。

引き続き、「1級に初めて合格しました!」へのご投稿もお待ちしております。

漢字まなび活動のご紹介

当協会の「平成30年度漢字まなび活動助成」に採用された活動の一部をご紹介します。
お申し込みやお問い合わせは各主催団体へお願いします。

北海道

活動名：学習会

日程・内容：2018年10月20日(土) 13:00～15:30

- ①異文化を学ぶ
講師：平山裕人氏(歴史学同好会)
演題：「北海道開拓とアイヌ政策」
(仮題)

②級別グループ学習 テーマ未定
2019年1月19日(土) 13:00～15:30

- ①漢検模擬試験
1級・準1級/2級
各グループで演習・解説
②漢字文化研究グループ 演習と解説

会 場：道民活動センター
(10月…940研修室 1月…1070会議室)
(札幌市中央区北2条西7丁目)

参加費：一般の方は1回500円

申込先：北海道漢字同好会
TEL&FAX 011-691-5123
メール kanji0764@nifty.com

主 催：北海道漢字同好会

活動名：特別講演会

日 程：2018年11月3日(土・祝) 13:00～15:00

会 場：道民活動センター 820研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

講 師：阿辻哲次氏(京都大学 名誉教授)

演 題：「知っておきたい漢字の知識
～漢字のしくみとあゆみ～」

北海道

定 員：120名(先着順)

申込先：北海道漢字同好会
TEL&FAX 011-691-5123
メール kanji0764@nifty.com

参加費：1人500円(当日徴収)

主 催：北海道漢字同好会

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

新潟県

活動名：講演会

日 程：2018年11月18日(日) 10:00～12:00

会 場：新潟駅前カルチャーセンター 802号室
(新潟市中央区東大通1-1-1第5マルカビル)

講 師：笹原宏之氏(早稲田大学 教授)

演 題：「面を広げる漢字、層を重ねる漢字
～中国と日本の違い～」

定 員：60名

参加費：無料

申込方法：同好会会員は出欠ハガキで。一般の方は、
同好会事務局へお問い合わせください。

問合せ先：新潟漢字同好会事務局
090-8640-8761(太田)

主 催：新潟漢字同好会



漢字クイズ 難読地名(京都府) 解答編

- ① すき(周枳)
- ② おおみす(大簾)
- ③ ひがしかざりやちょう(東鋸屋町)

【今回の一字】 枳 (1級)

音：キ・シ 訓：からたち

意味：1キ からたち。ミカン科の落葉低木。
2シ えだ。枝のように分かれたもの。

参考：「漢検 漢字辞典[第二版]」・「漢字ペディア」

※「漢字ペディア」は登録商標です。

会員通信への投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

1 級に初めて合格しました!

貴方あなたの合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「貴方」の経験をご投稿ください。

- 投稿内容：①合格時期
②合格までの受検回数
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと
④合格した時の気持ち、感想
⑤今後の目標

※文字数：項目①～⑤までの合計で500字以内
※対象：平成29年度第1回(6月)～平成30年度第2回(10月)の検定で初めて1級に合格された方

書籍紹介

漢字・言葉に関する書籍で面白いと感じたもの、興味を持ったものをご紹介ください。

- 投稿内容：①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年
⑤お薦めの理由(250字以内)

漢字クイズ・パズル

会員の方々の知識を活かした、クイズ・パズルのご投稿をお待ちしております。

- 投稿内容：①問題 ②解答(未発表作品に限る)
※例：漢字クロスワードパズル、難読漢字パズル、漢字クイズ等

イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

- 投稿内容：①日時 ②会場 ③内容 ④参加費
⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)



※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる可能性がございます。

アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から3名の方に図書カード(500円分)をお送りいたします。(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。)

会員向けアンケート回答方法

会員通信に掲載するアンケートにご協力をお願いします。

次のアンケートテーマは「漢字の知識が役に立った場面」です。検定合格後、仕事や学業はもちろん、意外な場面で役に立った等、皆様の体験談をお寄せください。下記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、2018年11月30日(金)までにご回答をお願いいたします。



https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_114/index.do

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールもしくは電話にてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りします。

投稿方法

①～④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の宛先にお送りください。

- ①会員番号
- ②氏名(ペンネームも可)
- ③電話番号
- ④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会**
生涯学習ネットワーク担当
メール：lifelong@ic.kanken.or.jp
FAX：075-532-1110
郵送：〒605-0074
京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日：2018年11月30日(金)

※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。
※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。
※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。
※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただくことがあります。ご了承ください。



公益財団法人 **日本漢字能力検定協会** 本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地

<https://www.kanken.or.jp/>  **0120-509-315** 月～金9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)

※検定日とその前日の土・日は窓口を開設
※検定日・申込締切日は9:00～18:00

